

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員育成に関して、資格取得や介護職のキャリアアップに関して目的や意欲を持ち取組める体制や職員間に置いての指導体制などが不十分。	未経験新規職員や中堅職員が将来ビジョンが持てる職場環境の構築。	①管理者による全職員の面談にて、聞き取りや個人ごとの思いに応じた目標達成の為の計画や、キャリアアップ方法の提案を行う。 ②資格取得による待遇改善の明確化を行い、公表する。 ③新規職員指導のマニュアル、方法を構築し、管理者主任には共有し、育成プロセスを組み立てる。	12ヶ月
2	26	計画策定者を主にプラン作成は行っているが、チームでの評価、モニタリング、アセスメントに関してチーム全体での取り組み実施状況にて、ユニット間にて差が生じている。	事業所全体にてチームで作る介護計画とモニタリングが行えるようになる。	①専門職としての関わりの見直しを行う。モニタリング、アセスメント、プランの関係性を知識として見直す。(ケアマネ、実務者研修修了者を主として) ②担当の役割を明確化し、専門的な関わりが持てるよう取組を行う。	12ヶ月
3	42	毎食後の口腔ケアの取組が、声掛けは行うが定着していない状況にある。対応方法と重要性の意識不足がある。	毎食後の口腔ケア実施の定着。ご利用者の口腔内環境の維持及び改善。	①口腔ケアの必要性と、口腔内環境の悪化に伴う高齢者のリスクの再確認を知識として行う。 ②口腔ケアの実施の為の方法、問題点の分析(時間、人員、場所等) ③定期的(6ヶ月の一度)の口腔ケアチェックシートの活用にて評価を行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。